

令和4年1月14日

保護者の皆様

横浜市教育委員会
横浜市立戸塚高等学校
校長 植松 聡

新型コロナウイルス感染拡大防止措置の徹底についてのお願い

保護者の皆様には、本校の教育活動に対するご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、現在、デルタ株からオミクロン株へと急速に置き換わり、全国的に感染が拡大している状況です。オミクロン株は、ウイルスに変異箇所が多く、高い感染力があり、潜伏期間が短く、感染が急拡大する可能性を指摘されています。そのため、早期の対応が求められます。児童生徒の教育活動を確保するためには、陽性者が発生したとしても、そこからの感染拡大を最小限に抑え、学校内での拡大を防ぐ対応が非常に重要です。また、ご家庭との連携した健康観察を徹底していくことも重要です。つきましては、ご家庭におかれましても感染拡大予防対策の徹底にむけ、次のような対応をお願いいたします。

- ・喉の違和感程度の僅かな体調の変化であっても登校を控え、医療機関を受診してください。
- ・ご家庭において必要に応じて、有症状時は抗原検査キット、無症状時は無料PCR検査(※)の活用を検討をお願いいたします。

(※)神奈川県 PCR 等検査無料化事業（検査ができる場所のリストの掲載あり）

<https://3ce11065.viewer.kintoneapp.com/public/e7332448a3594bdd3487cfb6616126aa24ab906ed6f58158f8e30b38d0a436f1#/>

（ただし、いずれもウイルス量が少ない段階では、陰性になる場合もあることを念頭において対応をお願いいたします。）

- ・家族全員の感染予防策の徹底やリスクの高い行動の回避をお願いいたします。
- ・学校外での行動も含め、生徒自らが感染リスクを下げる取組ができるよう、水分補給や着替えの時など、短時間マスクをはずした際の会話や、狭い空間で長い時間を一緒に過ごすなど、特に感染するリスクが高いと考えられる行動を避けるよう指導していきますので、ご家庭での指導もお願いいたします。

※市立学校における具体的な感染事例

- ・生徒が校外においてカラオケや飲食を共にしたことで、複数名へ感染が拡大した。
- ・陽性者に対して、保健所が調査を行ったところ、数日前から喉の痛みなどの風邪症状があったにも関わらず登校していたことが判明した。
- ・2回のワクチン接種歴があっても、陽性者となったり、年齢が若くても軽症でなく入院治療が必要な病状となっている例がある。

学校におきましては、これまでも生徒の安全・安心な教育活動のために、様々な感染拡大防止措置を講じてまいりましたが、市中の感染状況を踏まえ、改めて、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」等に基づき、感染予防のための取組を徹底してまいります。

なお、今後、国または県から対応等の要請があった場合や、感染状況等により、学校における措置等を急に変更する必要がある場合も考えられますのでご理解ください。

横浜市立戸塚高等学校
(045-871-0301)